

一体打ちベタ基礎断熱システム「タイト・モールド」 基礎工事と同時に“地下空間”設置が可能な 新工法パッケージを3月1日より提供開始

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社（代表：濱村聖一、本社：東京都港区）は、司コーポレーション株式会社（代表：松井健司、本社：群馬県沼田市）と提携して全国展開する、一体打ちベタ基礎断熱システム「タイト・モールド」において、木造住宅の床下を効率的に地下空間として利用する新工法パッケージを2015年3月1日より提供開始します。

今回の新工法は EPS（発泡スチロール）素材を断熱材兼型枠として使用する「タイト・モールド」の特性を生かした『基礎型枠設置時点で地下室を作り上げる仕組み』をパッケージ化したものです。

従来の住宅建築手法で地下室を設けようとする場合、型枠の設置手間が多くかかること、打継部への防水加工を厳重に実施しないと漏水のリスクがあること、床下の温熱環境が外気温に左右されやすいことなどから大幅なコスト増が懸念され、なかなか消費者の要望に応じて地下室や床下の収納スペースを設けることができませんでした。

ハイアスでは、全国の代理店と共に2015年度の施工目標200棟を目指します。

また、「タイトモールド」は3月3日（火）～3月6日（金）東京ビッグサイトにて開催される「建築・建材展 2015」に出展し、当日は基礎工事と同時に地下空間を創造する具体的手法を公開するとともに「タイト・モールド」設置の実演も行います。



▲「タイト・モールド」なら基礎工事の際に簡単に地下空間を作ることができます。特に敷地の狭い住宅では、お施主様にとって大きな魅力になります。収納スペースとして、趣味の空間として、様々な利用シーンが創造出来ます。

【「タイト・モールド」について】

「タイト・モールド」は、施工性に優れた型枠を活用した基礎断熱工法。型枠自体が軽量の断熱材（EPS50mm）でできているので、浮かし型枠を簡単に精度よく設置でき、立ち上がりコンクリートと耐圧盤を同時に打設する一体打ちを実現する。このため、打継ぎ目地やコールドジョイントが生じず、水やシロアリの侵入を防ぎ、耐久性に優れた強い基礎にすることが可能。また、基礎断熱の大敵であったシロアリに対しては、断熱材の素材一粒一粒にホウ酸を練り込ませるといった特殊技術により、防蟻性能を確保し、さらに断熱材の上部にアルミ製の防蟻笠木を取り付けるという対策が施されている。

■ ハイアス・アンド・カンパニー(株) 会社概要

- 設立:2005年3月 ○資本金:1億1千425万円(2015年1月末現在) ○所在地:東京都港区白金台
- 事業内容:財産コンサルティング事業、住宅・建設・不動産事業のナレッジ開発、販売促進支援事業など
- 会社 URL: <http://www.hyas.co.jp>
- タイト・モールド公式サイト URL: <http://www.tightmold.jp/>